徳島大学

教職キャリアノート

入学年度　　（和暦）　　年度

学　　部

コ ー ス

学生番号

ふりがな
氏　　名

取得希望免許状　校種：　　教科（科目）：

目　　次

1．『教職キャリアノート』の活用に当たって…… 1

2．記入欄と記入の仕方 …… 2

3．提出時期・返却時期など …… 3

4．教員として身につけておくべき資質・能力とその内容 …… 4

5．学生の記入欄

⑴　教員を目指した動機 …… 7

⑵　目指す教師像 …… 7

⑶　授業省察記録 …… 8

⑷　教員としての資質・能力チェックリスト …… 81

⑸　ボランティア経験の状況 …… 89

⑹　『教職キャリアノート』返却時の省察記録…… 93

6．教員の押印もしくは署名欄 …… 94

1．『教職キャリアノート』の活用に当たって

教員になるということは、これからの社会を創り出していく子供たちに「人生を切り拓いていくために必要な資質･能力[※1]」を育むという崇高な使命を果たす職業につくということです。そのために皆さんは、「思考力・判断力・表現力等を育む実践的指導力を有する教員[※2]」「社会からの尊敬・信頼を受ける教員[※2]」を目指さなければなりません。こうしたことを踏まえ、徳島大学の教員養成の理念は「確かな専門性と幅広い教養を基盤として、豊かな人間性を醸成し、進取の気風をもって教育現場で活躍することのできる教員を養成する。」と定めています。この目標の達成は大学の責務です。ただし、皆さん一人一人が崇高な使命を深く自覚し、この理念に示された教員となるべく、日々、学び続けなければ成し得ることができません。このことを自覚して、日々優れた専門性と幅広い教養、豊かな人間性、自立して未来社会の諸問題に立ち向かう「進取の気風[※3]」を身につけるよう努力してほしいと願い、『教職キャリアノート』を作成いたしました。

従って、このノートには、①教員として身につけておくべき資質・能力を明らかにする、②あなたが考えたこと・身につけたことや今後身につけるべきことを「学びの履歴」として記録するという二つの機能があります。①については､本学の教育理念･目標､ディプロマ･ポリシーに照らしながら、本学だからこそできる教員養成の在り方を考え、資質･能力を「素養」「HR･学級経営力」「授業力」「協働力」の４つに区分し、さらに、それぞれを３つに分け、年次ごとの到達目標（ｐ.4～6参照）を設定しました。この目標とあなたが身につけている資質・能力を照らすことによって年次ごとの目標達成度と課題を明確にし、その解決に向けた見通しを持ち、計画的・主体的に教員として必要な資質・能力を獲得していくことを期待しています。②については｢2．記入欄と記入の仕方｣(p.2･3)に示す記入欄を設けました。この記録により、あなたの学習状況やキャリア形成[※4]を見通したり振り返ったりすることで、自己の成長を自覚すると共に、将来の在り方・生き方を深く考えてほしいのです。

『教職キャリアノート』は、「3．提出時期・返却時期など」（p.3）に記したとおり、学期ごとに提出し指導を受けることになっています。また､学期ごとに開催される『教職キャリアノート』講習会に出席して『教職キャリアノート』を通じた学びの蓄積に関する講習も受けることになっています。このように合計４回の指導・講習を受けることで、自らの学びをまとめ振り返るとともに、教員として必要な資質・能力を身につけるべく粘り強く取り組めているか確認します。この合計４回の指導･講習を受け､『教職キャリアノート』に学びの履歴を綴ることで、4年次に開講される教職課程の総まとめの科目「教職実践演習」を受講することが可能となります。

※1　平成28年12月中央教育審議会答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」の「第４章　1.『社会に開かれた教育課程』の実現」には「これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界に向き合い関わり合い、自らの人生を切り拓いていくために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確化し育んでいくこと。」と記述されている。

※2　平成24年8月中央教育審議会答申「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について（答申）」の「1．現状と課題　2．これからの教員に求められる資質能力」には「これからの社会で求められる人材像を踏まえた教育の展開、学校現場の諸課題への対応を図るためには、社会からの尊敬・信頼を受ける教員、思考力・判断力・表現力等を育成する実践的指導力を有する教員、困難な課題に同僚と協働し、地域と連携して対応する教員が必要である。」と記述されている。

※3　徳島大学の基本方針に「2　専門知識と技術を身につけ、自律して社会の諸問題に立ち向かい、リーダーシップをもって、課題解決にあたることができる進取の気風を身につけた人材の育成を行う。」とある。

※4　社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培うこと。

2．記入欄と記入の仕方

『教職キャリアノート』は、⑴　教員を目指した動機、⑵　目指す教師像、⑶　授業省察記録、⑷　教員としての資質･能力チェックリスト、⑸　ボランティア経験の状況、⑹　キャリアノート返却時の省察記録の 6 つの記入欄から構成されています。

記入欄ごとの「記入の仕方」は次のとおりです。

⑴　教員を目指した動機

あなたが教員を目指そうと考えた動機について、「いつ頃から」「何がきっかけで」「誰のために」「何のために」「自分や生徒の幸せにどうつながるのか」「自分の長所（特技）をどう生かせるのか」などをキーワードとして、自由に記述してください。教員を目指した動機を自覚することは、厳しい教育現場の職に就こうとするあなたの心の支えとなるはずです。

⑵　目指す教師像

教員として求められる「使命感・責任感」「情熱」「教育的愛情」「高い専門性」「信頼される人間性」などの資質・能力、新聞等で取り上げられている「いじめ」「虐待」「学力向上」などの教育課題への対応をキーワードとして、あなたが目指す教師像を考え、具体的に記述してください。１年生の頃から学年が進むに従って教師像が変化したり、より具体的になったりするでしょう。「自分を振り返って見通しをもつ」ことが大切です。講習会で『教職キャリアノート』を受け取るたびに書き加えていきましょう。

⑶　授業省察記録

教員免許状取得のために必ず履修しなければならない科目については、必ず記入してください。それ以外の科目についても、将来教員となった際に参考となることを学べたと思える科目については、科目名をあなたが記入して書き込めるように欄を多くとっています。

この省察の観点は、「授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと」です。授業内容から学んだことはもちろんですが、授業を担当する先生の姿から学んだことも記します。先生の姿や指導の仕方から、教員になるために必要だと思うことを見出して記すのです。課題設定、指導方法・技術、教材等準備、プレゼンテーション力、コミュニケーション力など、目を向けたい点は様々ですが、いずれにしても、あなた自身の「よさを見抜く目」を育てることが大切です。できる限り多くの授業について省察し、記録していきましょう。また、教職ガイダンス等、参加した研修会等についても記録しておくようにしましょう。

⑷　教員としての資質・能力チェックリスト

学年ごとに示されている教員としての資質・能力の年次別到達目標について、自分自身をよく見つめ直し、学年末には目標到達度を自己評価して、目標達成状況と課題を記しましょう。その際、評価根拠を明らかにしましょう。また、十分に達成できていない資質・能力については、今後、どのようにして身につけるのか、その見通しを具体的に示すようにしましょう。

⑸　ボランティア経験の状況

ボランティア活動を経験することで、他人に共感すること、自分が必要とされていること、社会の一員であることを実感し、自己肯定感や思いやりの心、規範意識が高まります。また、自ら物事に関心を持って取り組むことから、主体的に問題を発見したり、困難に挑戦し解決

したり、人との信頼関係を築いて共に物事を進めたりする能力が身につきます。こうしたことから、教員になるにあたり、ボランティア活動を経験しておくことはとても重要です。

この欄には、教職に関するボランティアに限らず、あなたが経験した全てのボランティアについて記入してください。ボランティア活動を通して学んだことについて書き込んでおくことは、経験を第三者に説明することができるようになると共に、あなた自身にとっても自らの経験の重要な点を意識することにつながります。

⑹ 『教職キャリアノート』返却時の省察記録

『教職キャリアノート』講習会での講習を踏まえて、自らの『教職キャリアノート』への記入の仕方について省察します。この省察を生かし、よりよい学びの履歴となるようにしていきましょう。

3．提出時期・返却時期など

『教職キャリアノート』の記入・提出・返却は、次の表のとおりに行ってください。

なお提出・講習会期日は、各学期ごとに学務係の掲示板もしくは学生用教務事務システムにより通知します。

期日	学生が行うこと	配付・提出・返却
1年次 10 月	「教員免許状取得希望者に対する説明会」に出席し、記入の仕方を理解する。	説明会で配付
2年次4月末	1年次の授業省察などを記入、提出する。	学務係へ提出
2年次6月	『教職キャリアノート』講習会に出席し、講習を受ける（1回）。	講習会で返却
2年次 10 月末	2年次前期の授業省察などを記入し、提出する。	学務係へ提出
2年次 12 月	『教職キャリアノート』講習会に出席し、講習を受ける（2回）。	講習会で返却
3年次4月末	2年次後期の授業省察などを記入し、提出する。	学務係へ提出
3年次6月	『教職キャリアノート』講習会に出席し、講習を受ける（3回）。	講習会で返却
3年次 10 月末	3年次前期の授業省察などを記入し、提出する。	学務係へ提出
3年次 12 月	『教職キャリアノート』講習会に出席し、講習を受ける（4回）。	講習会で返却
3年次3月末	3年次後期の授業省察などを記入し、提出する。	学務係へ提出
4年次5月	「教職実践演習」（第1回）を受講する。	授業の中で行う個人面接の終了後に返却
4年次 12 月	4年次後期の授業省察などを記入、提出する。	学務係へ提出
4年次3月卒業時	『教職キャリアノート』を受け取る。	卒業関係書類とともに返却

４．教員として身につけておくべき資質・能力とその内容

〈素　　養〉

○　使命感・情熱

教員の使命を理解し、教育的愛情と熱意を持って、生徒の成長や安全、健康を第一に考え、適切に行動することができる。

○　倫理観

教育公務員としての常識やマナー、道徳性を身につけ、法令遵守の精神に基づいた行動ができる。

○　学び続ける力

自己の課題を認識し、その解決に向けて、自己研鑽に励んだり、他者の意見を謙虚に受止めたりするなど、常に学び続けようとする姿勢を身につけている。

〈HR・学級経営力〉

○　生徒理解・指導力

生徒理解の意義を理解し、生徒指導や教育相談等の基本的な方法を身につけている。

○　集団指導力

担任の職務内容や集団づくりの意義を理解し、HR・学級経営の基本的な指導方法を身につけている。

○　課題解決力

学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、積極的に課題解決に取り組むことができる。

〈授　業　力〉

○　授業構想力

生徒の活動の姿や思考の流れを想定しながら教材を分析し、学習指導要領の内容に基づき、生徒の主体的・対話的で深い学びを実現する授業を構想することができる。

○　授業実践力

ICT 活用を含む基本的な指導技術を身につけ、生徒の反応や学習の定着状況に応じて適切な指導方法・学習形態等を取り入れた授業を実践することができる。

○　授業省察力

授業を分析して改善する手立て（主体的・対話的で深い学びを実現する授業に向けた授業改善）を理解し、自らの授業（模擬授業を含む）において実践することができる。

〈協　働　力〉

○　社会性・コミュニケーション力

コミュニケーションスキルを身につけ、他者と積極的に関わり、良好な人間関係を築くことができる。

○　ネットワーク構築力

社会の一員としての意識の下、地域の人等と連携する重要性を理解し、ボランティア活動や地域の行事等に参加している。

○　危機管理力

安全教育・防災教育・危機管理に関する知識を身につけ、危険箇所等の早期発見や想定外の事態への対応ができる。

＜年次別到達目標＞

区分	顔・勘	１年次	２年次	３年次	４年次
素養	使命感・情熱	教員の存在の意味、教員に求められる資質・能力（教育的愛情含む）について考え、自分なりに、その解を見いだすことができる。	教員の使命等を理解し、介護等体験等において、自分が果たすべき役割や責任を自覚して熱意と誠意をもって取り組むことができる。	教育的愛情を根幹として、自分が想定した様々な事例について、生徒の成長や安全、健康を守るための具体的な方策を提案することができる。	教育実習において、教育的愛情と熱意を持って、生徒の成長や安全、健康を守るために、自ら率先して行動することができる。
	倫理観	積極的な学習姿勢、時間厳守等の受講マナーはもとより、情報モラル、交通マナー等の生活に必要な常識やマナーが身についている。	法に基づき、教育公務員の権利と義務を正しく理解し、不祥事防止等の対策について提案することができる。	社会の一員としての権利と義務を正しく理解し、倫理観をもって現在の自分の在り方・生き方を見直し行動できる。	教育実習において、教育公務員としての倫理観と規範意識をもち、生徒・教職員等の信頼を得ながら自らの職責を果たすことができる。
	学び続ける力	他者の意見や自分の失敗を謙虚に受け止めて「自分自身に対する省察」を行い、それを踏まえて自分を改善していくことができる。	目指す教師像（自己実現）と関連付けて講義内容を理解し、その学習を振り返って自己実現に向けた今後の学びの見通しをもつことができる。	生徒の成長や安全、健康に資するために必要な力を分析・整理し、それを自分が身につけるために具体的な手立てを講じることができる。	教育実習等における教育実践から自己の課題を認識し、その解決に向けて自己研鑽に励むなど、常に学び続けようとする姿勢が身についている。
HR・学級経営力	生徒理解・指導力	身近な人の些細な変化にも気づくよう心を配り、その気づきに基づき「人の役に立つこと」を考え、行動できる。	発達状況に基づく心的特性や発達課題について理解し、生徒が自他を大切にし，互いに尊重し合う具体的な手立てを提案することができる。	生徒理解の方法を理解し、ロール・プレイング等の体験学習を通して、いじめや不登校等に関する教育相談の習熟に努めている。	教育実習において生徒理解に努め、生徒一人一人の発達や心身の状況に応じて適切な指導を行うことができる。
	集団指導力	集団の一員としての自覚をもち、生活のあらゆる場において、好悪の感情にとらわれずに他者と望ましい人間関係を築くことができる。	グループ学習等において、ファシリテーターとなってメンバーの意見を引き出したり、話し方等を工夫して聞き手の興味や関心を高めたりすることができる。	担任の職務内容や集団づくりの意義を理解し、特別活動等の講義を通じて、成長を促すHR・学級経営の在り方を具体的に提案することができる。	教育実習において、身につけた指導方法等を生かし、より仲のよいHR・学級へと導くなど、教育活動の活性化につながる集団づくりに貢献することができる。
	課題解決力	生活の中から様々な課題を見いだし、解決に必要な情報を収集・分析・整理して解決を図ろうとする探究的な態度（進取の気風）を身につけている。	特別支援教育の重要性を理解し、障がいのある生徒の持てる力を高め、困難を改善または克服するための適切な指導や支援を具体的に説明することができる。	いじめに対する基本的な対応を理解し、いじめの事例等をもとに、適切な予防・早期発見・組織的な対応について具体的に提案することができる。	学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、教育実習における自らの教育実践に生かすことができる。

区分	顔・能	1年次	2年次	3年次	4年次
授業力	授業構想力	受講した講義から、学習者の意欲を喚起する授業の展開等に気づき、それを説明することができる。	学習指導要領の熟知に努め、教科等の目標や内容等を理解し、それに基づく指導計画・評価計画を作成することができる。	指導案の作成に習熟し、本時の目標達成のための手だてを明確にした指導案を作成することができる。	生徒の活動の姿や思考の流れを想定しながら教材を分析し、生徒の主体的・対話的で深い学びを実現する授業を構想することができる。
	授業実践力	相手を意識して、わかりやすい言葉遣いや話し方に留意したり、文字を丁寧に書いたり、コンピューター等から情報を発信したりしている。	生徒の興味・関心を引き出す発問、学習の流れ・要点がわかる板書（プレゼン）、生徒に表記を工夫させるノート指導など、基本的な指導技術の習熟に努めている。	実際の授業を想定して、発問を考え、反応を予想し、それを踏まえた適切な指導方法・学習形態・教材教具（デジタル教材等の活用を含む）を提案することができる。	ICT活用を含む基本的な指導技術を身につけ、生徒の反応や学習の定着状況に応じて適切な指導方法・学習形態等を取り入れた授業（主体的・対話的で深い学びを実現する授業）を実践することができる。
	授業省察力	受講した講義から、課題設定、指導方法・技術、教材準備等の工夫を見取り説明することができる。	診断的評価、形成的評価、総括的評価、自己評価などの評価方法や「指導と評価の一体化」について説明することができる。	模擬授業等を分析して改善の手立てを明らかにし、その後の模擬授業や教育実習での授業実践に生かすことができる。	生徒の学習の定着状況に基づいて、自分自身の授業を省察し、授業計画や指導方法等を工夫・改善（主体的・対話的で深い学びを実現する授業に向けて授業を改善）することができる。
協働力	社会性・コミュニケーション力	自他を大切にし、人権感覚を身につけ、互いに尊重し合う人間関係を築くことができる。	講義、ボランティア活動、介護等体験等の中で、自分の意志を他者に適切に伝えたり、相手の感情や思考を把握したりして良好な人間関係を築くことができる。	生徒の発達に応じた表情や声の抑揚、身振り手振り、傾聴など、授業をはじめ教育活動に必要なコミュニケーションスキルを身につけている。	教員・社会人として求められるコミュニケーションスキルを身につけ、生徒のコミュニケーション力を高めるための指導ができる。
	ネットワーク構築力	交友関係を広げ、考えや習慣が異なる人とも意見を交わすことで、新たな知見を得たり、課題を解決したりすることができる。	サークル活動、部活動等において、他の部員等と協働してよりよい活動となる方策を考え、共に実践することができる。	ゼミの活動等を通して、目的・情報・資源等を共有するためのネットワークを構築し、目標達成に向けて努力することができる。	ボランティア活動、教育実習等において、組織の一員として周りの人と協力して職務を果たすことができる。
	危機管理力	緊急時の自分の行動をシミュレーションしたり、自宅の防災対策を行ったりすることができる。	居住地の防災計画を調べ、危険箇所や緊急時の対応について理解し、自分はもとより地域の人の避難誘導等について考え、説明することができる。	安全教育・防災教育・危機管理に関する知識を身につけ、学校で起こり得るリスクを想定した対応を考え、説明することができる。	学校で起こり得る様々なリスクやトラブルを理解し、教育実習において教育環境の整備や怪我・事故等の未然防止に生かすことができる。

5．学生の記入欄

⑴　教員を目指した動機

⑵　目指す教師像

（記入年月日：　　年　　月　　日）

（記入年月日：　　年　　月　　日）

（記入年月日：　　年　　月　　日）

（記入年月日：　　年　　月　　日）

（記入年月日：　　年　　月　　日）

⑶　授業省察記録

（教育職員免許法施行規則 66 条の 6 に定める科目）

＜授業省察記録＞

授業科目名〈日本国憲法〉 （　　）	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名〈体育〉 ウェルネス総合演習	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名〈外国語コミュニケーション〉 （　　）	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名〈情報機器の操作〉 （　　）	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

⑶　授業省察記録

（教科及び教科の指導法に関する科目）

–「教科に関する専門的事項」に関する科目–

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

⑶　授業省察記録

（教科及び教科の指導法に関する科目）

–「各教科の指導法」に関する科目–

＜授業省察記録＞

授業科目名 国語科教育法Ⅰ	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 国語科教育法Ⅱ	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 国語科教育法Ⅲ	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 国語科教育法Ⅳ	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 社会科教育法	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 社会科・地理歴史科教育法	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 社会科・地理歴史科教育方法論	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 社会科・公民科教育法	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 社会科・公民科教育方法論	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 英語科教育法Ⅰ	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 英語科教育法Ⅱ	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 英語科教育法Ⅲ	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 英語科教育法Ⅳ	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 美術科教育法Ⅰ	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 美術科教育法Ⅱ	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 美術科教育法Ⅲ	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 美術科教育法Ⅳ	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 保健体育科教育法Ⅰ	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 保健体育科教育法Ⅱ	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 保健体育科教育法Ⅲ	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 保健体育科教育法Ⅳ	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 数学科教育法Ⅰ	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 数学科教育法Ⅱ	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 数学科教育法Ⅲ	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 数学科教育法Ⅳ	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 理科教育法Ⅰ	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 理科教育法Ⅱ	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 理科教育法Ⅲ	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 理科教育法Ⅳ	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 情報科教育法Ⅰ	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 情報科教育法Ⅱ	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 工業科教育法Ⅰ	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 工業科教育法Ⅱ	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

⑶　授業省察記録

（教育の基礎的理解に関する科目）

＜授業省察記録＞

授業科目名 教育学概論	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 教師論	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 教育の制度と経営	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 学習・言語心理学	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 発達心理学	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 特別支援教育概論	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 教育課程論	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

⑶　授業省察記録

（道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目）

＜授業省察記録＞

授業科目名 道徳教育	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 総合的な学習の時間の指導法	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 特別活動論	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 教育方法学	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 生徒指導論（進路指導を含む）	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 教育相談	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

⑶　授業省察記録

（教育実践に関する科目）

（大学が独自に設定する科目）

（その他の科目等）

＜授業省察記録＞

授業科目名 教育実習事前事後指導（事前指導）	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 教育実習（中学）・教育実習（高校）	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 教育実習事前事後指導（事後指導）	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

教職実践演習「課題発見のための省察シート」

このシートは、３年次後期に、あなたのこれまでの「学び」や「自分の姿」を見つめ直して自己評価し、「教職実践演習」において解決を図る「自分の課題」を発見するためのものです。第１回「教職実践演習」において、この省察シートの記述をもとに「班別話し合い」を行います。この中で、主体的に意見発表したり、協議したりすることが求められます。また、担当教員との個別面談が行われ、目標達成に向けた関心・意欲・態度等が評価されます。この話し合いや面談に対応できるよう「自分の課題」等について深く考え記述してください。　※３年次 12 月に開催される『教職キャリアノート』講習会受講後に記入のこと。

１　「教員として身に付けておくべき資質・能力」についてのチェック

教員として身に付けておくべき資質・能力		３年次到達目標	目　標　達　成　度	目標達成に向けたあなたの これまでの取組と今後の取組（具体的に記述）
素　　養	使命感・情熱	教育的愛情を根幹として、自分が想定した様々な事例について、生徒の成長や安全、健康を守るための具体的な方策を提案することができる。	できない　あまりできない　少しできる　ほぼできる　できる 1 ―― 2 ―― 3 ―― 4 ―― 5	記述例：いじめに関する「○○」という本を熟読した。これに基づき、･･･方策を考えた。
	倫理観	社会の一員としての権利と義務を正しく理解し、倫理観をもって現在の自分の在り方・生き方を見直し行動できる。	できない　あまりできない　少しできる　ほぼできる　できる 1 ―― 2 ―― 3 ―― 4 ―― 5	記述例：県教育委員会の不祥事防止対策を調べた。これによると･･･自分の行動は････
	学び続ける力	生徒の成長や安全、健康に資するために必要な力を分析・整理し、それを自分が身につけるために具体的な手立てを講じることができる。	できない　あまりできない　少しできる　ほぼできる　できる 1 ―― 2 ―― 3 ―― 4 ―― 5	記述例：教員養成講座を受講し・・・・
ＨＲ・学級経営力	生徒理解・指導力	生徒理解の方法を理解し、ロール・プレイング等の体験学習を通して、いじめや不登校等に関する教育相談の習熟に努めている。	できない　あまりできない　少しできる　ほぼできる　できる 1 ―― 2 ―― 3 ―― 4 ―― 5	
	集団指導力	担任の職務内容や集団づくりの意義を理解し、特別活動等の講義を通じて、成長を促す HR・学級経営の在り方を具体的に提案することができる。	できない　あまりできない　少しできる　ほぼできる　できる 1 ―― 2 ―― 3 ―― 4 ―― 5	
	課題解決力	いじめに対する基本的な対応を理解し、いじめの事例等をもとに、適切な予防・早期発見・組織的な対応について具体的に提案することができる。	できない　あまりできない　少しできる　ほぼできる　できる 1 ―― 2 ―― 3 ―― 4 ―― 5	
授 業 力	授業構想力	指導案の作成に習熟し、本時の目標達成のための手だてを明確にした指導案を作成することができる。	できない　あまりできない　少しできる　ほぼできる　できる 1 ―― 2 ―― 3 ―― 4 ―― 5	
	授業実践力	実際の授業を想定して、発問を考え、反応を予想し、それを踏まえた適切な指導方法・学習形態・教材教具（デジタル教材等の活用を含む）を提案することができる。	できない　あまりできない　少しできる　ほぼできる　できる 1 ―― 2 ―― 3 ―― 4 ―― 5	
	授業省察力	模擬授業等を分析して改善の手立てを明らかにし、その後の模擬授業や教育実習での授業実践に生かすことができる。	できない　あまりできない　少しできる　ほぼできる　できる 1 ―― 2 ―― 3 ―― 4 ―― 5	

教員として身に付けておくべき資質・能力		3年次到達目標	目 標 達 成 度	目標達成に向けたあなたの これまでの取組と今後の取組（具体的に記述）
協 働 力	社会性・コミュニケーション力	生徒の発達に応じた表情や声の抑揚、身振り手振り、傾聴など、授業をはじめ教育活動に必要なコミュニケーションスキルを身につけている。	できない　あまりできない　少しできる　ほぼできる　できる 1 —— 2 —— 3 —— 4 —— 5	
	ネットワーク構築力	ゼミの活動等を通して、目的・情報・資源等を共有するためのネットワークを構築し、目標達成に向けて努力することができる。	できない　あまりできない　少しできる　ほぼできる　できる 1 —— 2 —— 3 —— 4 —— 5	
	危機管理力	安全教育･防災教育･危機管理に関する知識を身につけ、学校で起こり得るリスクを想定した対応を考え、説明することができる。	できない　あまりできない　少しできる　ほぼできる　できる 1 —— 2 —— 3 —— 4 —— 5	

2　学びの成果についてのチェック

学　び　の　成　果	自 分 の 成 長 度
教師の指導の意図を見抜く目を育てることができた。	できない　あまりできない　少しできる　ほぼできる　できる 1 —— 2 —— 3 —— 4 —— 5
今後、教育実習等で生かすことができそうな指導技術を見出すことができた。	できない　あまりできない　少しできる　ほぼできる　できる 1 —— 2 —— 3 —— 4 —— 5
ボランティア経験等を積むことを通して、他者のことを考え、進んで行動する奉仕の精神を身につけることができた。	できない　あまりできない　少しできる　ほぼできる　できる 1 —— 2 —— 3 —— 4 —— 5
他者のよさを取り入れ、自分を伸ばそうとすることができた。	できない　あまりできない　少しできる　ほぼできる　できる 1 —— 2 —— 3 —— 4 —— 5
他者と話し合う時、自分の考えを正確に伝えることに自信ができた。	できない　あまりできない　少しできる　ほぼできる　できる 1 —— 2 —— 3 —— 4 —— 5

3　自己評価により明らかとなった「教職実践演習」における自らの課題

	授業担当教員
	㊞

※押印する授業担当教員は、「教職実践演習」であなたを担当する教員です。ゼミの先生ではありません。

－・－・－・－　3年次3月末に、ここまで記入。以下は第1回「教職実践演習」受講後に記入。－・－・－・－

4　個人面接、及びグループ協議を経て確定した「教職実践演習」における自らの課題

	授業担当教員
	㊞

※第５回教職実践演習にて記入

「教職実践演習」及び４年間の教職課程の学びの総括

次の点について、これから話し合います。話し合う前に、自分の中にあることを整理してみましょう。

１　４年間の教職課程の学びにおける自分の成長（p. ７～ 68 の記載内容を参考に）

２　目指す教師像は、どのように変容してきたか（p. ７の記載内容を参考に）

３　「教職実践演習」で学んだこと

４　今後の課題

＜授業省察記録＞

授業科目名 介護等体験事前指導（福祉施設）	施設担当者	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 介護等体験（福祉施設）	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 介護等体験（事前指導） （鳴門教育大学附属特別支援学校）	施設担当者	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 介護等体験 （鳴門教育大学附属特別支援学校）	当該学校担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 数理科学演習	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名 情報科学演習	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

＜授業省察記録＞

授業科目名	担当教員	履修年度・期 年度：前・後・通
授業を受講して学んだこと・教員になるために必要だと思ったこと		
		（記入年月日：　　年　　月　　日）

⑷　教員としての資質・能力チェックリスト

1年次

区分	資質・能力	内　容	目標達成状況と課題					
素養	使命感・情熱	教員の存在の意味、教員に求められる資質・能力（教育的愛情含む）について考え、自分なりに、その解を見いだすことができる。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1
	倫理観	積極的な学習姿勢、時間厳守等の受講マナーはもとより、情報モラル、交通マナー等の生活に必要な常識やマナーが身についている。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1
	学び続ける力	他者の意見や自分の失敗を謙虚に受け止めて「自分自身に対する省察」を行い、それを踏まえて自分を改善していくことができる。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1
HR・学級経営力	生徒理解・指導力	身近な人の些細な変化にも気づくよう心を配り、その気づきに基づき「人の役に立つこと」を考え、行動できる。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1
	集団指導力	集団の一員としての自覚をもち、生活のあらゆる場において、好悪の感情にとらわれずに他者と望ましい人間関係を築くことができる。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1
	課題解決力	生活の中から様々な課題を見いだし、解決に必要な情報を収集・分析・整理して解決を図ろうとする探究的な態度（進取の気風）を身につけている。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1

区分	資質・能力	内　容	目標達成状況と課題					
授業力	授業構想力	受講した講義から、学習者の意欲を喚起する授業の展開等に気づき、それを説明することができる。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1
	授業実践力	相手を意識して、わかりやすい言葉遣いや話し方に留意したり、文字を丁寧に書いたり、コンピューター等から情報を発信したりしている。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1
	授業省察力	受講した講義から、課題設定、指導方法・技術、教材準備等の工夫を見取り説明することができる。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1
協働力	社会性・コミュニケーション力	自他を大切にし、人権感覚を身につけ、互いに尊重し合う人間関係を築くことができる。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1
	ネットワーク構築力	交友関係を広げ、考えや習慣が異なる人とも意見を交わすことで、新たな知見を得たり、課題を解決したりすることができる。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1
	危機管理力	緊急時の自分の行動をシミュレーションしたり、自宅の防災対策を行ったりすることができる。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1

2年次

区分	資質・能力	内　容	目標達成状況と課題					
素養	使命感・情熱	教員の使命等を理解し、介護等体験等において、自分が果たすべき役割や責任を自覚して熱意と誠意をもって取り組むことができる。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1
	倫理観	法に基づき、教育公務員の権利と義務を正しく理解し、不祥事防止等の対策について提案することができる。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1
	学び続ける力	目指す教師像（自己実現）と関連付けて講義内容を理解し、その学習を振り返って自己実現に向けた今後の学びの見通しをもつことができる。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1
HR・学級経営力	生徒理解・指導力	発達状況に基づく心的特性や発達課題について理解し、生徒が自他を大切にし、互いに尊重し合う具体的な手立てを提案することができる。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1
	集団指導力	グループ学習等において、ファシリテーターとなってメンバーの意見を引き出したり、話し方等を工夫して聞き手の興味や関心を高めたりすることができる。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1
	課題解決力	特別支援教育の重要性を理解し、障がいのある生徒の持てる力を高め、困難を改善または克服するための適切な指導や支援を具体的に説明することができる。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1

区分	資質・能力	内　容	目標達成状況と課題					
授業力	授業構想力 記入年月日 年 月　日	学習指導要領の熟知に努め、教科等の目標や内容等を理解し、それに基づく指導計画・評価計画を作成することができる。						
			目標達成度	5	4	3	2	1
	授業実践力 記入年月日 年 月　日	生徒の興味・関心を引き出す発問、学習の流れ・要点がわかる板書（プレゼン）、生徒に表記を工夫させるノート指導など、基本的な指導技術の習熟に努めている。						
			目標達成度	5	4	3	2	1
	授業省察力 記入年月日 年 月　日	診断的評価、形成的評価、総括的評価、自己評価などの評価方法や「指導と評価の一体化」について説明することができる。						
			目標達成度	5	4	3	2	1
協働力	社会性・コミュニケーション力 記入年月日 年 月　日	講義、ボランティア活動、介護等体験等の中で、自分の意志を他者に適切に伝えたり、相手の感情や思考を把握したりして良好な人間関係を築くことができる。						
			目標達成度	5	4	3	2	1
	ネットワーク構築力 記入年月日 年 月　日	サークル活動、部活動等において、他の部員等と協働してよりよい活動となる方策を考え、共に実践することができる。						
			目標達成度	5	4	3	2	1
	危機管理力 記入年月日 年 月　日	居住地の防災計画を調べ、危険箇所や緊急時の対応について理解し、自分はもとより地域の人の避難誘導等について考え、説明することができる。						
			目標達成度	5	4	3	2	1

3年次

区分	資質・能力	内　容	目標達成状況と課題					
素養	使命感・情熱	教育的愛情を根幹として、自分が想定した様々な事例について、生徒の成長や安全、健康を守るための具体的な方策を提案することができる。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1
	倫理観	社会の一員としての権利と義務を正しく理解し、倫理観をもって現在の自分の在り方・生き方を見直し行動できる。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1
	学び続ける力	生徒の成長や安全、健康に資するために必要な力を分析・整理し、それを自分が身につけるために具体的な手立てを講じることができる。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1
HR・学級経営力	生徒理解・指導力	生徒理解の方法を理解し、ロール・プレイング等の体験学習を通して、いじめや不登校等に関する教育相談の習熟に努めている。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1
	集団指導力	担任の職務内容や集団づくりの意義を理解し、特別活動等の講義を通じて、成長を促すHR・学級経営の在り方を具体的に提案することができる。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1
	課題解決力	いじめに対する基本的な対応を理解し、いじめの事例等をもとに、適切な予防・早期発見・組織的な対応について具体的に提案することができる。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1

区分	資質・能力	内　容	目標達成状況と課題					
授業力	授業構想力 記入年月日 年 月　日	指導案の作成に習熟し、本時の目標達成のための手だてを明確にした指導案を作成することができる。						
			目標達成度	5	4	3	2	1
	授業実践力 記入年月日 年 月　日	実際の授業を想定して、発問を考え、反応を予想し、それを踏まえた適切な指導方法・学習形態・教材教具（デジタル教材等の活用を含む）を提案することができる。						
			目標達成度	5	4	3	2	1
	授業省察力 記入年月日 年 月　日	模擬授業等を分析して改善の手立てを明らかにし、その後の模擬授業や教育実習での授業実践に生かすことができる。						
			目標達成度	5	4	3	2	1
協働力	社会性・コミュニケーション力 記入年月日 年 月　日	生徒の発達に応じた表情や声の抑揚、身振り手振り、傾聴など、授業をはじめ教育活動に必要なコミュニケーションスキルを身につけている。						
			目標達成度	5	4	3	2	1
	ネットワーク構築力 記入年月日 年 月　日	ゼミの活動等を通して、目的・情報・資源等を共有するためのネットワークを構築し、目標達成に向けて努力することができる。						
			目標達成度	5	4	3	2	1
	危機管理力 記入年月日 年 月　日	安全教育･防災教育･危機管理に関する知識を身につけ、学校で起こり得るリスクを想定した対応を考え、説明することができる。						
			目標達成度	5	4	3	2	1

4年次

区分	資質・能力	内　容	目標達成状況と課題					
素養	使命感・情熱	教育実習において、教育的愛情と熱意を持って、生徒の成長や安全、健康を守るために、自ら率先して行動することができる。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1
	倫理観	教育実習において、教育公務員としての倫理観と規範意識をもち、生徒・教職員等の信頼を得ながら自らの職責を果たすことができる。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1
	学び続ける力	教育実習等における教育実践から自己の課題を認識し、その解決に向けて自己研鑽に励むなど、常に学び続けようとする姿勢が身についている。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1
HR・学級経営力	生徒理解・指導力	教育実習において、生徒理解に努め、生徒一人一人の発達や心身の状況に応じて適切な指導を行うことができる。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1
	集団指導力	教育実習において、身につけた指導方法等を生かし、より仲のよいHR・学級へと導くなど、教育活動の活性化につながる集団づくりに貢献することができる。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1
	課題解決力	学校生活の中で生じる様々な課題の発見と対応の方法について理解し、教育実習における自らの教育実践に生かすことができる。						
	記入年月日 年 月　日		目標達成度	5	4	3	2	1

区分	資質・能力	内　容	目標達成状況と課題					
授業力	授業構想力 記入年月日 年 月　日	生徒の活動の姿や思考の流れを想定しながら教材を分析し、生徒の主体的・対話的で深い学びを実現する授業を構想することができる。						
			目標達成度	5	4	3	2	1
	授業実践力 記入年月日 年 月　日	ICT 活用を含む基本的な指導技術を身につけ、生徒の反応や学習の定着状況に応じて適切な指導方法・学習形態等を取り入れた授業（主体的・対話的で深い学びを実現する授業）を実践することができる。						
			目標達成度	5	4	3	2	1
	授業省察力 記入年月日 年 月　日	生徒の学習の定着状況に基づいて、自分自身の授業を省察し、授業計画や指導方法等を工夫・改善（主体的・対話的で深い学びを実現する授業に向けて授業を改善）することができる。						
			目標達成度	5	4	3	2	1
協働力	社会性・コミュニケーション力 記入年月日 年 月　日	教員・社会人として求められるコミュニケーションスキルを身につけ、生徒のコミュニケーション力を高めるための指導ができる。						
			目標達成度	5	4	3	2	1
	ネットワーク構築力 記入年月日 年 月　日	ボランティア活動、教育実習等において、組織の一員として周りの人と協力して職務を果たすことができる。						
			目標達成度	5	4	3	2	1
	危機管理力 記入年月日 年 月　日	学校で起こり得る様々なリスクやトラブルを理解し、教育実習において教育環境の整備や怪我・事故等の未然防止に生かすことができる。						
			目標達成度	5	4	3	2	1

⑸　ボランティア経験の状況

期間（回数）	ボランティアの名称・又は実施機関名	内容／状況 学んだこと	ボランティア先のコメント・認印
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			

＊ボランティア先のコメント・認印は、記入していただける場合のみ。

期間（回数）	ボランティアの名称・又は実施機関名	内容／状況 学んだこと	ボランティア先のコメント・認印
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			

＊ボランティア先のコメント・認印は、記入していただける場合のみ。

期間（回数）	ボランティアの名称・又は実施機関名	内容／状況 学んだこと	ボランティア先のコメント・認印
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			

＊ボランティア先のコメント・認印は、記入していただける場合のみ。

期間（回数）	ボランティアの名称・又は実施機関名	内容／状況 学んだこと	ボランティア先のコメント・認印
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			
年 月　日 ～ 年 月　日			

＊ボランティア先のコメント・認印は、記入していただける場合のみ。

⑹ 『教職キャリアノート』返却時の省察記録

（記入年月日：　　年　　月　　日）

（記入年月日：　　年　　月　　日）

（記入年月日：　　年　　月　　日）

（記入年月日：　　年　　月　　日）

6．教員の押印もしくは署名欄

	教員の押印もしくは署名		
	2年次	3年次	4年次
前期分	年　月　日	年　月　日	年　月　日
後期分	年　月　日	年　月　日	年　月　日

※原則として、この欄に4つの「押印もしくは署名」がないと教職実践演習を受講できない。

教職実践演習受講可　　印

教職実践演習担当者記入欄
年　月　日　担当（　　）
年　月　日　担当（　　）